

No.24 A WORD FROM ANOTHER WORLD

8月、東川町に3人目の外国語指導助手（ALT）として、カナダからカトリーナ・カイラさんが着任しました。カリン・ストロムさん、ステージー・フジカワさんの2人は主に幼児、小、中学生の担当。カトリーナさんは東川高校の高校生に本場の英語を教えます。今月は、空手とテコンドーの有段者というカトリーナさんのインタビューです。（聞き手は宮地晶子さん）

—来日のきっかけは何ですか。

「子供の時にテレビで見た漫画『忍者ミュートアント・タートルズ』です。夢中になって見ていたら、両親が和道流の空手教室に連れていってくれました。小学3年生ごろです」。

—ミュートアント・タートルズで覚えた最初の日本語は？

「『先生』『忍者』『忍者刀』『脇差し』…かな。その後、テコンドーやハッキドウという韓国の武道、そして居合道を習いました」。

—大学での専門は？

「大学院では芸術保全を学びました。保存修復には、絵画、紙類、オブジェクト3分野あります。私はオブジェクトの修復に携わりました。ニューヨークで発見された恐竜マストドンザウルスの歯の修復をしました。約100ピースの歯を復元しましたよ。セラトップスの骨を復元したこともあります。これはそもそも保存状態が悪くて、まず修復してあるものを分解するのに2カ月、復元に2カ月かかりました」。

—夢中になって時を忘れる感じですか。

「いえいえ。茶色い骨だけをじっと見つめる4カ月間は、ふとわれに返ると『他に何かやることはないのだろうか』と思ってしまいました」。

—カナダの人たちはいろいろな国から移住していますが、ご両親はどこの国の出身なんですか？

「父はイタリア系移民ですが、スコットランド生まれ。祖母はイタリア人で、その名前Derubisは、500年前にスペインにあった小さな村にたどりつきます。祖父の名Cairaは、900年前のエジプト・カイロに遡ります。母方の祖母はクロアチア人です。第二次世界大戦のときカナダに移住しました。こちらはよくある名字なので、先祖をたどることはできません。祖父はドイツ人とアイルランド人の両親の間に生まれたアイリッシュ系ドイツ人です」。

※エイゴノマナビカタ、ちょっと豆知識のコーナーは休載します。

—複雑ですね。そうすると家庭の味はどんな味？

「父の味といえばイタリアン。小さいときからニョッキなどのパスタと一緒に作ります。母の味はクロアチア系で、ポテトグラタンをよく作ってくれます。母は料理が上手で、ブラウニーやクッキー、スポンジケーキなどデザートもとてもおいしいですよ」。



—妹さんがいるそうですね。

「動物園で、は虫類の飼育係をしています。鷹匠のライセンスも持っています。それから警察犬を訓練する資格も持っていますよ。とても仲良しの妹です」。

カイラさんの趣味、コスプレなど、興味は尽きません。これからこのコラムで少しずつ語ってくれるでしょう。この町がとても好きだというカイラさん。ぜひ声を掛けてください。

Catrina Caira (カトリーナ・カイラ)

カナダ・オンタリオ州シャーケストン市出身、30歳。クイーンズ大学修士卒業（芸術保全）、トレント大学卒業（人類学専攻）、プレミングカレッジ修了（博物館管理、キュレーター業務）。彫刻、モニュメントの保存、管理、科学館指導員業務を経てJETプログラム＝（財）自治体国際化協会の外国青年招致事業＝で来日。趣味は日本アニメ、空手、柔術、日本社会学。

